



# KUZUU

## ROTARY CLUB NEWS

例会日 毎週火曜日  
 例会場 栃足利銀行葛生支店 2F  
 栃木県佐野市葛生東  
 1-12-11  
 TEL 0283(85)4451

2015~2016  
 RI 会長テマ

「世界へのプレゼントになろう」 K.R. ラビンドラ

葛生 RC 会長テマ

「地域を知り地域に奉仕を」 小曾戸健治

副会長 駒形忠晴 幹事 本島佳明 副幹事 中野勇夫

2015~2016 第 2658 回 28.3.8 例会場 於：住友大阪セメント(栃栃木工場) PM 12:30~

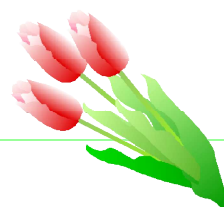
葛生RC ホームページアドレス <http://www.kuzuurc.com/> メールアドレス [kuzuu-rc@luck.ocn.ne.jp](mailto:kuzuu-rc@luck.ocn.ne.jp)

### 会 長 挨 拶



本日は、大嶋工場長のご厚意によりまして、住友大阪セメント栃栃木工場様の工場見学が実施出来ました。誠に有難うございます。また、本日お世話になりました担当の皆様にも、重ねて厚く御礼申し上げます。本年度の職業奉仕委員会の事業計画の一つとして行う事が出来ました。担当の福島委員長には大変お世話になりました。新田会長年度以来の事業所見学と記憶しています。地元においても、なかなか工場を見る機会がないのかと思います。規模の大きな素晴らしい設備と、充分考慮された環境対策、そして安全対策等、社内の取り組みが良く理解できたかと思えます。今後のさらなるご発展をお祈りいたします。

また、本日はこちらの講堂をお借りして行える例会も、新たな試みとして素晴らしい事ではないかと感謝しています。



本日は、セメントに因んだ話をとしましたが、知識が有りませんので、先週に続いて水に因んだお話をさせていただきます。

川は私たちに多くの恵みを与えてくれます。しかし時として氾濫を起こし、私たちに苦しめることもあります。さまざまな顔を持つ川とともに生きるため、日本人が長年培ってきた技術と文化のあゆみをたどります。

私たちの主食である米は、弥生時代初期に渡米したといわれています。稲の栽培には水が豊かな川の下流域などの湿地帯が選ばれました。ここでは洪水対策が容易ではなかったと思われます。湿地帯以外では、川から水を引いて堰や水路を築く必要に迫られます。日本の河川技術は稲作の普及とともに、水田を洪水から守り、少しでも収穫量を上げるため、徐々に進展したのです。

古代社会では朝廷によって大規模な土木工事が行われました。記録に残る日本初の河川工事は、大阪府門真市の茨田(まんだ)堤です。仁徳天皇が315年に都を難波に定めたころから淀川の工事が始まり、下流部に堤防が築かれたと日本書紀に記されています。上流からの土砂流出による河床の上昇を防ぎ、農地の排水を良くするためのものでした。

大陸文化が仏教とともに伝わり、農業利水技術も渡来人によってもたらされました。やがて遣隋使や遣唐使をはじめ多くの留学僧が大陸へ渡り、仏教だけでなく高度な土木技術が直接輸入されると、



河川技術も向上しました。時がくだり戦国時代になると、各地の武将が領地の治水を熱心に進め技術に磨きがかかります。治水の成果をあげることが、内政を安定させ人心を掌握する必須条件であったからです。

甲斐の武田信玄は甲府盆地の治水でも名高い戦国武将です。洪水や水害の多い暴れ川である御勅使川(みだい)と釜無川(かまなし)の合流点を変え、激しい流れを竜王高岩という絶壁にぶつけて勢いを弱めた上で、堤防を築くことによって、洪水被害を激減させました。治水家の真骨頂は、川に対する鋭い観察力にあります。おそらく信玄は、御勅使川(みだい)と釜無川(かまなし)を一望のもとに眺められる竜王高岩に立ち、土砂の動きを観察しながら、この大プロジェクトを立案したに違いありません。さらに信玄は、一連の工事により移転を余儀なくされた人々には生涯税金を免除したり、神社を堤防近くに移して堤防を参道とすることで、堤防の維持管理に住民を積極的に参加させました。地域住民との協力関係の重要性という今日的なテーマを、すでに信玄は実践していたのです。

江戸時代においても、河川技術は内政の重要な役割を演じました。近代に比べ技術水準がまだ低く、すべての土地や財産を平等に守ることが難しかったため、重点主義がとられました。城や城下町を浸水から守ることをまず目標とし、そのほかの地域は洪水を完全に抑えるのではなく、氾濫しても被害を最小限に止めるように、土地利用にさまざまな工夫を凝らしていました。

例えば、しばしば河川が氾濫する地域の水田では、土地の一部を掘って盛り上げたところに稲を植え、掘った部分は水路として舟で行き来する堀田(ほりた)という方式がとられました。また住居は河床より高い地盤に建て、川沿いの土地には高桑やリンゴなどの比較的背の高い樹木を植え、低湿地にはレンコンなど冠水に強い野菜などを栽培しました。氾濫対策と調和した農業経営であり、川とともに生きる人々の知恵がありました。このような工夫や知恵が今日の基礎となったのでしょうか。

## 会 長 報 告

次週例会のお客様に、佐野市長 岡部正英様がいらっしゃいます。  
多数の出席をお願い致します。



## 欠席の連絡

- ・アシスタント 関塚 TEL 61-0075 (サムディー)
- ・例会場 (当日連絡の場合) TEL 85-4451



## ニコニコBOX報告

岩崎委員長

小曾戸健治君

大嶋工場長大変お世話になりました。充実した見学会が出来、感謝しています。  
御社のさらなる発展をお祈り致します。  
福島委員長、段取りご苦労さまでした。  
おかげさまで事業が一つ無事終了できました。有難うございました。



本島佳明君

本日は工場見学お世話になりありがとうございます。  
大嶋工場長、次回は他の工場の見学もお願いします。宜しくお願いします。

駒形忠晴君

大嶋工場長はじめ住友大阪セメントの皆さま、工場見学ありがとうございます。  
優良事業場お手本として見習わせていただきます。  
福島職業奉仕委員長、準備等いろいろありがとうございます。

馬場俊一君

住友大阪セメントさんを見学させて戴いて。

福島秀治君

住友大阪セメント大嶋工場長、本日は何から何まで大変お世話になりました。  
今後共御社のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

片柳克敏君

大嶋工場長、工場見学ありがとうございます。  
あまりの広さにちょっと息切れ、良い汗をかきました。



若田部貴君

大嶋工場長、企業見学ありがとうございます。

岩崎昇一郎君

大嶋工場長 大変お世話になりました。

会報委員会 委員長 塩島達人 副委員長 片柳克敏 委員 若田部 貴

